



16.30

コーギュラント(凝集剤)

16.30 Coagulant

▪ Standoblue[®]ベースコート廃液用凝集剤

使用上のポイント

「上記データは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記データは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はプロセスと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与えますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」

16.30 コーギュラント(凝集剤)

素地:

作業プロセス:

- ・ 洗浄で発生した廃液50Lに対して50～200gの16.30コーギュラントを混合
- ・ 少なくとも3～5分間ミキサー等で十分に攪拌
(数分後、水性塗料の固形分が水と分離し、汚れていた廃液が透明になると完了)
- ・ フィルターでろ過
(凝固物は産業廃棄物として許可を得た専門業者に処理を委託)

前処理 /
脱脂クリーニング:

- ・ 残った水は再度機器の洗浄に使用

「上記データは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記データは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はプロセスと組み合わせる場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与えますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行っていただきますようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」

16.30 コーギュラント(凝集剤)

引火点:

比重:

固形分

(希釈剤を加えない場合):

塗布面積(理論値):

注意事項:

- ・ 分離した水を廃棄する場合、水質汚濁防止法、河川法、下水道法など地方条例に従って処理してください
- ・ 廃液の濃度が濃い場合、分離しません。水で濃度を薄めてから使用してください

「上記データは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記データは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はプロセスと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与えますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」